

ORSCプロフェッショナル実践コースのご案内

CRR Global Japan
〒102-0083
東京都千代田区麹町6-6-2
WeWork麹町5F

いつもCRR Global Japanをご支援頂き、誠にありがとうございます。
この度、2024年3月スタートのORSCプロフェッショナル実践コースを開催する準備が整いましたのでご案内いたします。このコースは、システムコーチとしてのあなたを次のステージへと導くことをお約束すると共に、ファカルティー同、本コースでお目に掛かれることを楽しみにしております。以下、コースの概要を記載しておりますので、ご一読の上、質問などございましたら、遠慮なくご連絡ください。

I. コースの内容

ORSCのプロフェッショナル実践コースには以下の9つの要素があります。

(☆がついている要素はスケジュールが決定しています。☆がついていない項目は、各自でスケジュールをアレンジしていただく項目です。)

尚、新プログラム導入に向けて、今後各コールの名称の変更を予定しています。

1. スキルドリルコール☆

最大15人で構成される‘コーホート’と呼ばれるチームメンバー全員と担当コーホートリーダーで実施します。

1回2時間、全15回オンライン会議システムを使用して実施します。

2. システムコーチングの実践

参加者はコース期間中に合計100時間のシステムコーチングの実践が必要です。

コース期間中、コース開始時点で最低2組、その後1ヶ月以内にさらに2組で計4組のシステムコーチングのクライアントと契約関係にあることが必要です。

3. スーパービジョン

スーパービジョンは、3種類あります。

いずれも、実施したシステムコーチングのセッションを録音して頂き、スーパーバイザーからのフィードバックを受けて頂きます。尚、セッションの録音とスーパービジョンへの使用について、クライアントから署名いただいた公表承諾書をCRR Global Japanに提出いただきます。

(1) 個人スーパービジョン

受講生と担当スーパーバイザーの1対1で行われるものです。

皆さんのセッションを録音していただき、それをスーパーバイザーが聴いた上で、直接フィードバックを受けていただきます。

各回75分、全6回。1人のスーパーバイザー各2回×スーパーバイザー3人＝計6回。
(スケジュールはコース期間中に各自でそれぞれの担当スーパーバイザーと設定していただきます。)

(2) グループスーパービジョン (GSV) ☆

受講生5名と担当スーパーバイザー1名の計6名で実施します。

受講生5名が各々1回ずつ、自分のセッションの録音を全メンバーとスーパーバイザーに提出し、全員でスーパービジョンを体験し、仲間のコーチングを通じて学びを深めていきます。全5回。各回1.5時間。(日程はスケジュール表を参照してください。)

(3) チームコーチングスーパービジョン (TSV) ☆

コーホートのメンバー全員と担当スーパーバイザーとのグループコールの形式で実施されます。

シナリオを全員で共有し、その場で受講生がそれぞれクライアント役とコーチ役を担います。コーチ役がそこで実施したシステムコーチングに対して、担当スーパーバイザーがスーパービジョンを行います。全6回。各回2時間。(日程はスケジュール表を参照してください。)

4. コリグ・コール

各回1時間、全6回、受講生5人一組でコールを持っていただきます。

毎回宿題がありますので、それを各自で実施の上、このコールをメンバーそれぞれでスケジューリングして設定していただきます。

5人一組の組分けは、コース開始時点までにご案内致します。

5. ORSCインスティテュート及びホームワーク

オンライン上のコンテンツサイトで、毎回のスキルドリルコールやコリグ・コールの事前準備と小テストを実施していただきます。

6. ワールド・ワーク・プロジェクト

プロフェッショナル実践コースに参加される皆さんは全員「ワールド・ワーカー」である、と私達はみなしています。そこで、それぞれの皆さんがシステムコーチングを通じてどのように世界に働きかけていくのかについてプロジェクトを立案いただき、随時その進捗をレポートとして作成し提出していただきます。

7. 3日間集中トレーニングキャンプ ☆

コースの中間のタイミングで、コーホートメンバー全員が集合し、3日間でチームコーチングのトレーニングとワールド・ワーク・プロジェクトの進捗発表をしていただきます。

東京都内での開催を予定しており、宿泊を伴うプログラムではありません。

8. 中間レビュー

受講生お1人お1人と担当コーホートリーダーが30分の個別コールを持ちます。

9. ACTCコール ☆

各回2時間30分、全2回、コーホートのメンバー全員と担当スーパーバイザーとのグループコールの形式で実施されます。ICF認定資格 (ACTC) を申請される場合に必要な要件の一部がカバーされます。

その他. 道場開きの儀 ☆

オリエンテーション+第1回スキルドリルコールとして、コーホートメンバーが集合し、キックオフを行います。東京都内での開催を予定しており対面参加をお願いしています。

II. ORSC資格取得のための条件

1. 以下の必要出席数を満たしていること
 - (1) スキルドリルコール+チームコーチングスーパービジョン(15回/全19回)
 - (2) コリグ・コール (5回/全6回)
 - (3) グループスーパービジョン(4回/全5回)
 - (4) ACTC準備コール(2回/5時間)
2. 上記(1)~(3)以外のプログラムの全てに参加・修了していること
3. 100時間のORSCセッションをコース開催初日より1年以内実践していること
4. 個人スーパービジョンで、全6回中3回の平均点が6.0以上であること
 - * 全6回中3回の平均点が6.0に満たない場合は、条件を満たすまで追加(有料)で個人スーパービジョンを受ける必要があります。
5. ホームワーク及び必要書類を全て提出していること

III. お申込み条件

1. コース開始時点で、ORSC応用コースを修了(海外受講含む)されている方。
2. コース開始時点で最低2組のシステムコーチングのクライアントと契約関係(見込み)があり、開始1ヶ月以内にさらに2組で計4組以上のシステムコーチングのクライアントと契約関係を結べる見込みのある方。
3. お申込み時点で、必要出席時間を確保できる方。
4. プロフェッショナル実践コースにコミットメントを持って、主体的に参加できる方。

IV. 参加費用とお支払い

お申込の受理から2週間以内にお申込み金として440,000円(税込)をお支払いいただきます。その後の残金のお支払方法には以下3つのオプションがあります。

お支払方法	詳細	お支払額 合計 (税込)
残金一括払い	コース開催初日の45日前までに残金539,000円を支払う	979,000円
残金 分割2回払い	コース開催初日の45日前までに286,000円、 コース開催初日の3ヶ月後の月末までに286,000円を支払う	1,012,000円
残金 分割4回払い	コース開催初日の45日前までに154,000円、 コース開催初日の1ヶ月後の月末までに154,000円、 コース開催初日の3ヶ月後の月末までに154,000円、 コース開催初日の5ヶ月後の月末までに154,000円を支払う	1,056,000円

参加費に含まれないものとしては、以下のものがあります。

- * オンライン会議システムの通信料
- * 道場の儀、集中トレーニングキャンプ参加のための移動交通費、宿泊施設滞在費及び食費

V. 開催スケジュール

【2024年3月スタート】 木曜日 20:00スタート

週	日程	コールの種類		
1	2024年3月2日(土)	オリエンテーション	道場の儀(対面)	
		スキルドリル1		
2	2024年3月14日	スキルドリル2		
3	2024年3月21日	GSV1	セルフスタディ	
4	2024年3月28日	スキルドリル3		
5	2024年4月4日	GSV2	セルフスタディ	
6	2024年4月11日	TSV1-1		
7	2024年4月18日	GSV3	セルフスタディ	
8	2024年4月25日	スキルドリル4		
9	2024年5月2日	GSV4	セルフスタディ	
10	2024年5月9日	TSV1-2		
11	2024年5月16日	スキルドリル5		
12	2024年5月23日	GSV5	セルフスタディ	
13	2024年5月30日	スキルドリル6		
14	2024年6月6日～	中間レビュー(個別コール)		
	2024年6月21日-6月23日		集中トレーニングキャンプ (対面)	
	10:00～18:00			
15	2024年7月4日		セルフスタディ	
15	2024年7月4日	ACTC1		
16	2024年7月11日	スキルドリル7		
17	2024年7月18日	TSV1-3		
18	2024年7月25日		コリーグコール1-1	セルフスタディ
19	2024年8月1日	スキルドリル8		
20	2024年8月8日		コリーグコール1-2	セルフスタディ
21	2024年8月15日	TSV2-1		
22	2024年8月22日	スキルドリル9		
23	2024年8月29日		コリーグコール1-3	セルフスタディ
24	2024年9月5日	スキルドリル10		
25	2024年9月12日		コリーグコール2-1	セルフスタディ
26	2024年9月19日	TSV2-2		
27	2024年9月26日		コリーグコール2-2	セルフスタディ
28	2024年10月3日	スキルドリル11		
29	2024年10月10日		コリーグコール2-3	セルフスタディ
30	2024年10月17日	スキルドリル12		
31	2024年10月24日	TSV2-3		セルフスタディ
32	2024年10月31日	スキルドリル13		
33	2024年11月7日	スキルドリル14		
34	2024年11月14日	ACTC2		
35	2024年11月21日	スキルドリル15		

VI. お申込み方法

- (1) CRR Global Japanホームページの「マイページ」から登録をお願いします。
- (2) お申込み金のお振込みをもって正式なお申込み完了となります。

VII. お申込み締め切り

コース開催初日の15日前

VIII. 最少催行人員と判断期日について

◆最少催行人員：12名

◆最少催行人員に満たないと判断し、開催中止を決定する期日

コース開催初日の15日前の時点で、正式なお申込みが12名未満の場合。

* 開催中止の場合は、お支払いいただいた受講費を全額ご返金いたします。

IX. キャンセル・日程変更・返金に関する規定

受講のキャンセル及び日程変更をされる場合は、CRR Global JapanにEメールで連絡いただく必要があります。(但し、お申込み状況によっては、日程変更のご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

お申込み金をお支払頂いた後で受講生の皆様の都合でキャンセル及び日程変更をされる場合、以下の通りキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

- (1) コース開始前のキャンセル及び日程変更:

手数料(税別)			
コース開催初日より 45日前まで (*1)	44日前(*2) ~15日前(*1)	14日前(*2) ~2日前(*1)	前日(*2) ~当日
無料	15万円	25万円	40万円

- (2) コース開始後のキャンセル:

手数料(税別)	
当日~コース開始後 12週目のコール前日まで (*1)	コース開始後 12週目のコール以降(*2)
40万円	受講料の100%

(*1) 23:59メール着信分まで

(*2) 0:00メール着信分以降

* 手数料の切り替わるタイミングは、いずれも該当日の23:59メール着信分までを基準といたします。

* お支払いいただいた受講料から規定の手数料を差し引き、返金いたします。

弊社都合による日時の変更や開催中止の場合を除き、返金時の振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

X. 申し込みに当たってのチェック項目

以下の項目は、あなたの権利と責任、プログラムへの積極的な参加を確認するものです。また同時に、キャンセル、返金に関する規定への同意を求めるものです。お申込みにあたっては、以下の項目に同意の上、お申込みください。

- 私は、コース開催初日迄に、ORSCシステム・インテグレーションコースを修了しています。
- 私は、コース開催初日迄に、最低2組のシステムコーチングのクライアントと契約し、その後1ヶ月以内にさらに2組、計4組以上のシステムコーチングのクライアントと契約を結びます。
- 私は、資格取得のためのコース修了条件(必要出席日数及び資格取得のための条件)について理解し、同意します。
- 私は、コース中及びコース修了後に関わらず、CRR Global及びCRR Global Japanの知的財産権を侵害しません。
- 私は、コースのキャンセル、返金に関する規定に同意します。
- 私は、プロフェッショナル実践コースにコミットメントを持って、主体的に参加します。

ORSCプロフェッショナル実践コースQ&A

1. クライアント契約に有料無料について何か制限がありますか？

コーチングの契約関係における条件については、有料・無料の決まりはありませんが、プロフェッショナル実践コースは、プロの実践家としての土台を作る期間でもあるので、有料で契約を結ぶという挑戦もし続けていただきたいと思います。

尚、100時間にカウントできるものは、以下のとおりです。

- * サンプルセッション（20時間まで）
- * 有料コーチング（制限なし）
- * バーターコーチング（制限なし）
- * プロボノコーチング(25時間まで)
- * 個人クライアントに対してORSCのツールを使った時間（10時間まで）
- * ご自身がシステムコーチングを受けた時間(10時間まで)

2. クライアントは社内のチームのみでも大丈夫でしょうか。

100時間のコーチングのクライアントの対象についても、特に制限はありませんので、社内のみでもOKです。尚、学びの観点からは、いろいろなシステム(カップルや家族、その他)をコーチングすることを推奨していますが、必須ではありません。

尚、社内のチームをコーチングされる場合、1点ご注意いただきたいのは、「相手がシステムコーチングを受けていると合意している」ことが条件になります。つまり、社内ミーティングの中でさりげなくORSCのツールを使ったり、相手は研修を受けているつもりだが、内容にORSCのツールが織り込まれている、といったケースは100時間には数えられません。

また、社内でシステムコーチングを実施された場合、それをご自身の業務の一環として実施し、その対価がお給料に含まれる場合は、その時間は有料コーチングとしてカウントできます。

3. コーチング100時間に換算されるのはプロフェッショナル実践コースが始まってからということでしょうか？

はい、コース開催初日以降のセッションからカウントしていただきます。

4. バーター・コーチング、プロボノ・コーチングとは何ですか？

バーター・コーチングとは、提供するシステムコーチングの対価の見返りとして同等のサービス等を受け取るということです。クライアントさんから提供を受けるものについては厳密な定義はありません。例えば、マッサージを受ける、英会話のレッスンを受ける、などがあるかと思います。1対1のコーチングやシステムコーチングを受ける、というのもOKです。

プロボノとは、仕事やプロフェッショナルのスキルを生かした社会貢献という意味合いなの

で、本来的には公益のために無料で行うコーチングのことです。

例えば緊急時災害の現場に身を置く人たち、なんらかの理由により社会復帰を目指している人などに対して無料ボランティアで行うコーチングなどもあるかと思えます。

ただ、これについても定義に厳密に沿うことを要求するわけではないので、皆さんが社会的な意味を感じていらっしゃるのであれば対象者はどのようなシステムでもOKです。

5. クライアント契約について、何をどう進めたらよいのかとまどっています。

オリエンテーションで、あらためて説明がありますが、クライアント契約の形態については「契約書を書面で交わす」などの条件は特になく、クライアントがシステムコーチングを受けることについての合意があるということが必要になります。まずはその準備を進めておいてください。

6. 個人コーチングだと、3ヶ月は継続というような一定の目安があったりするのですが、ORSCについては何かありますか？

期間や回数、対面/電話等の制限はありません。

尚、頻度や回数はケースバイケースなので、1回きりという可能性もあるかと思えますが、複数回の継続的なセッションをお勧めしています。

7. 二人以上のクライアントのシステムを探し、有料で契約することについて、ハードルが高いと感じます。

最初はそのように感じることもあるかと思えます。まずは身近なところからチャレンジしてみたいかがでしょうか。たとえば友達同士のシステム、これから一緒に旅行をする二人など、あらゆる機会に関わらせてほしいと発信し続けてください。たとえば、コーホートの中や、他のコーチ仲間がイベントを企画するときの最初の関係づくりなど、身近なところにある機会をみつけてみてください。

以上